

私たちの

くらしと水

特集 1

宮の水道 大正ロマンの旅 ～文化遺産を訪ねて～

特集 2

雨と上手につきあいたい
ちよくせつ・しんせん・蛇口から



宮の水道

大正ロマンの旅

文化遺産を訪ねて



国の登録有形文化財、土木学会の土木遺産に登録されている宇都宮市水道の3つの施設。
創設当時の記憶を今に伝える宮の水道施設は、大正ロマンとモダニズムに溢れていました。

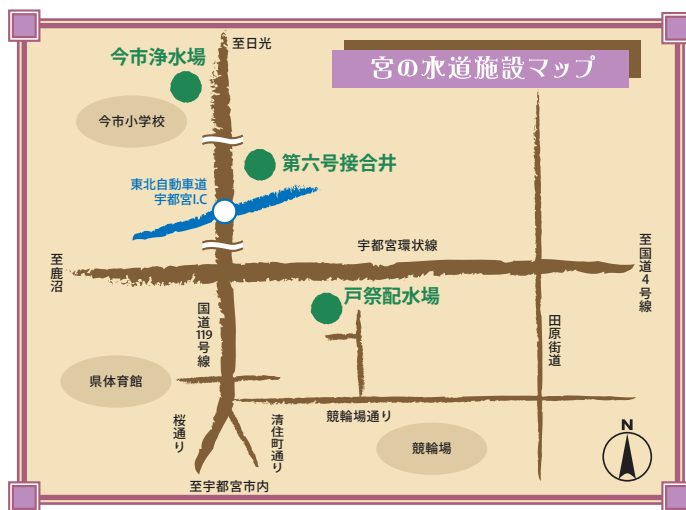
◆写真：宇都宮市水道資料館

ABOUT 宮の水道

宇都宮市の水道は、大正5年の通水から今年で93年目を迎えます。
創設当時の水道は、大谷川から取水し今市浄水場で浄水した水を、26km離れた戸祭配水場に送り、市内へ届けていました。

今もその姿を残す今市浄水場、第六号接合井(せつごうせい)、そして戸祭配水場は、その歴史的価値と高いデザイン性・技術力から、国の登録有形文化財(建造物)、また、土木学会の土木遺産に登録されています。

※今市浄水場での登録有形文化財登録は、水道資料館のみ。



STUDY 先人の知恵

宮の水道は素晴らしき“省エネ”施設

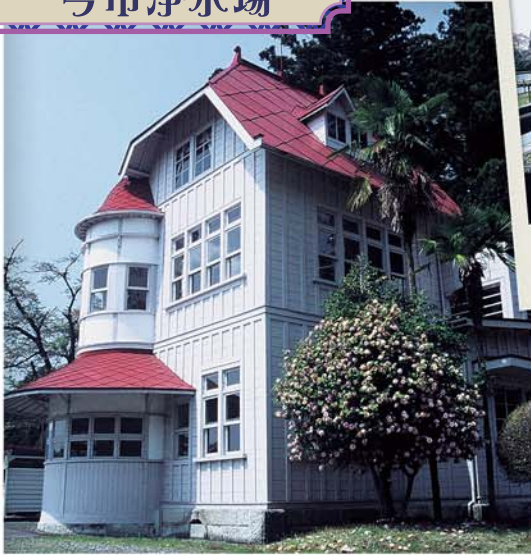
今も現役の今市浄水場と戸祭配水場は、自然の力を有効に活用した“省エネ”施設です。

今市浄水場では、環境にやさしい浄水を行っています。1日5mというゆっくりとした速度でろ過し、また、薬や機械を使わずに、藻類や微生物の力を借りて水の汚れを取り除いています。

創設当時、今市浄水場から戸祭配水場へは、加圧ポンプを使わず高低差を利用し自然流下で送水されていました。その送水過程で水圧を一定に保つために設置された施設が、6つの接合井です。

※現在は、今市浄水場からは市の北西部の篠井町や石那田町などに給水しています。

いま いち じょう すい じょう
今市浄水場



◆写真：宇都宮市水道資料館



昔ながらの自然に見守られた場内。



白い壁と天井の館内は異国情緒が漂います。

緑

豊かな日光市今市に、宮の水道のシンボルがあります。

現在水道資料館として保存されている赤い半切妻屋根の洋館は、元は事務所として使用されていたもので、アールデコ調の美しい建築物です。

■水道資料館の見学について

見学をご希望の方は事前にご連絡ください。

月～金曜日(祝祭日は除く)の9時～16時30分

TEL.0288-21-0158

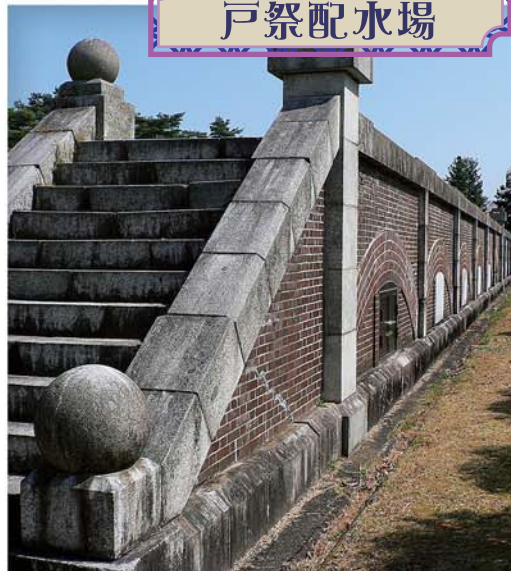
戸

祭台にある通称『水道山』。ここでは、水道創設とともに建造された配水池が、現在も現役で使用されています。赤いレンガ造りのその姿は美しく、そしてどっしりとした風格があります。

配水場の西側には、創設当時に資材運搬用の階段として造られた階段が、当時を再現した形で残っており、今も市民の散策の場となっています。

※配水場は探検ツアーの際などにご覧いただく予定です。

とまつり はい すい じょう
戸祭配水場



階段の頂上からの風景。映画の撮影にも使われました。



配水池の内部の水はまるで鏡のよう。なんとも神秘的です。

だい ろく ごう せつ ごう せい
第六号接合井



日光方面に向かい、高速道路をくぐると、道の右側に見えます。

目

光街道沿いに佇む

第六号接合井は、6か所あった接合井のうち、現存する唯一の施設です。

赤レンガと大谷石を使用した幾何学的なデザインが特徴的なこの建物は、今も生き続ける杉並木とともに、歴史的景観を現在に残してくれています。お出かけの際にはぜひ探してみてください。

宮の水道
大正ロマンの旅
 ～文化遺産を訪ねて～